



着ぐるみ使用マニュアル

東神楽町マスコットキャラクター

東神楽町まちづくり推進課

目次

- 1 事前確認事項
- 2 着ぐるみ内に入る人の服装
- 3 着替えの手順
- 4 装演時の注意点（中に入る人向け）
- 5 装演時の注意点（アテンダント向け）



1. 事前確認事項

着ぐるみを使用する際には、以下の点をかならず確認しておくこと！

人員体制

- ・ 装演者は、2人で順次交代していく体制が理想
- ・ 1人の場合でも基本的に30分程度を上限として、必ず休憩を取る
- ・ アテンダントは必ず1名以上つけ、移動などの補助を行うこと
- ・ 幼児が多く集まるイベントは、アテンダントを通常より多く配置すること
- ・ イベントの際は、演出などについて司会者と事前に十分な打合せをすること

控室の確保

- ・ 控室は着替えることのできる十分なスペースがあり、着ぐるみを広げることのできる部屋を用意すること
- ・ 着ぐるみを脱着しているところは、外部から覗かれることがないように留意すること
- ・ 控室は関係者以外立ち入り禁止区域にしたり、入口にパテーションを置いたりして工夫すること

運搬車両の確保

- ・ 着ぐるみ頭部（100cm四方）、胴体部（75cm四方）、足部（60cm四方）を積載できる車両と人員を準備すること
- ・ 使用前日及び翌日の使用状況を確認し、受け渡しの調整を行うこと（※特に土日祝日は注意）

2. 着ぐるみ内に入る人の服装

基本の服装

- 頭
 - ・バンダナ、手ぬぐいなどを頭に巻く
 - ・長い髪はゴムでまとめ、手ぬぐい等で髪がたれないようにまとめる
 - ・ヘアピンやピン止めは危険なので使用しないこと
- 顔
 - ・眼鏡はできるだけ使用せず、裸眼かコンタクトを使用するのが望ましい
 - ・やむをえず眼鏡を使用する際は曇り止め、眼鏡バンドを使用すること
- 体
 - ・Tシャツ（速乾性）、ジャージ、スパッツ、レギンス
 - ⇒下は足首まであるものが望ましい
- 手
 - ・手袋を必ず着用すること（※大量の汗をかくため）
- 足
 - ・靴下を必ず着用すること（※大量の汗をかくため）

注意事項

- ・ピアス、アクセサリは外すこと
- ・火気厳禁
- ・二日酔いでの着用は厳禁！
- ・着用時に足がはみ出る人は着用しないこと（身長180cm以上）
- ・夏場は十分な水分を補給すること
- ・緊急時にそなえて、アテンドへのサインを決めておくこと
- ・雨天時に屋外では絶対に使用しないこと



3. 着替えの注意事項

注意事項

- ・ 外部から絶対に見えない場所
- ・ 着替える場所（控室）の確保
- ・ 締め切りになるテントや部屋
- ・ ステージや登場ポイントから近い場所が望ましい

装着手順の遵守

- ・ 着ぐるみ取扱説明書の手順のとおり、正しく着用すること
- ・ 破損したり、汚れたときは必ずまちづくり推進課（TEL：83-2113）へ連絡すること

※破損したり、クリーニングが必要になったりした場合は実費を請求します

クリーニング代は、程度により金額が異なりますが、5万円～10万円程度となります。

4. 装演時の注意点（中に入る人向け）

装着

- ・ 人前では絶対に脱がないこと、脱着時の写真等をインターネット上にはアップしないこと
- ・ 装着していると構造上、面が斜めになってくるため、特に振り向いたり頷いたりする際に注意すること
- ・ 周囲への注意を怠らない
 - ⇒腹回り、尻尾などの近くの人・小さな子どもに注意する

動き

- ・ 動きはオーバーアクション気味に動く
 - ⇒着ぐるみは手足が短いので、意識的に大きく動かないと見ている側には動きが小さく見える
- ・ 子どもを抱き抱えたりしない
 - ⇒大きな事故につながる危険があるので、握手程度にしておく

発声

- ・ 演技中に会話や鳴き声など、声を発生することは厳禁！
 - ⇒花の妖精かぐらっき〜のイメージを壊さないため
- ・ アテンダントとの間で「緊急事態」（トイレや暑さに耐えられないなど）を知らせるサインを決めておく
- ・ 周囲から殴る、蹴るなどの行為を受けた際は、アテンダントが割って入り、やめさせる

移動

- ・ 移動する際は、必ずアテンダントの指示に従う
 - ⇒視野が狭いため、頭をぶついたり、階段で転んだりしやすい

環境

- ・ 必ず30分に一度は休憩を取るようにし、無理・無茶な行動はしない
 - ⇒特に炎天下での装演時は、水分を十分取ったり、保冷剤で身体を冷却するように心がける
- ・ 火気のそばには引火の可能性があるので絶対に近寄らない
- ・ 雨天、雪の日には屋外に出さない

5. 装演時の注意点（アテンダント向け）

位置

- ・着ぐるみと「付かず離れず」を心がけ、何かの時には、すぐ対応できる位置にいる
- ・着ぐるみの斜め前あたりから先導し、必要なときは手を引いて着ぐるみの歩行を補助する
⇒進行方向や人、障害物の存在を確認し、装演者に声に出して伝えること
- ・アテンダントが2人以上付く場合は、前後に分かれる

声かけ

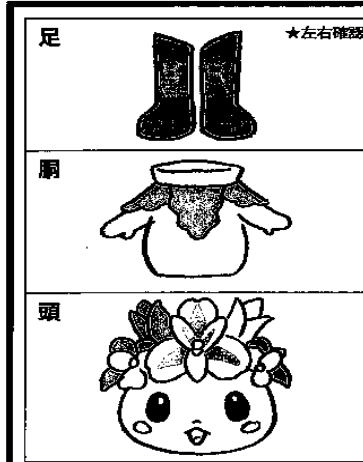
- ・ポイントでは必ず状況を装演者に伝えること
- ・握手や写真撮影のときは、着ぐるみに話しかけるように伝える
⇒「かぐらっき～、写真を取りたいお友達がいるから、ちょっと止まってね」など
- ・装演中、着ぐるみと無駄話はしない

その他

- ・周囲の状況に絶えず気を配る
- ・装演者の様子に気を配り、無理をさせないようにする
- ・装演時間が30分を超えないよう、時間を管理しておく
- ・着ぐるみの周囲に集まる小さな子どもは、視界に入らないことが多いので注意する
- ・男？女？の質問には、「妖精で性別はない」と答える
- ・誰が入っているの？という質問には「妖精です、誰も入っていません」と答える
- ・握手や写真撮影の希望が多い場合の人員整理をする

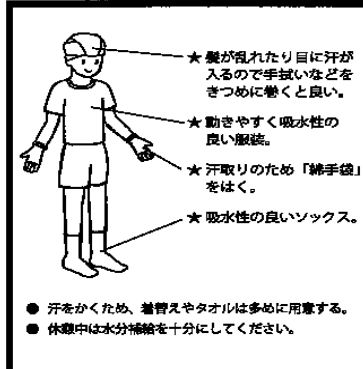
※装演中に破損した場合、直ちに使用を中止すること！

■ パーツの確認



● 靴中敷(使い捨て)・除菌消臭スプレー・
収納袋(大2・靴袋1組)・取扱説明書

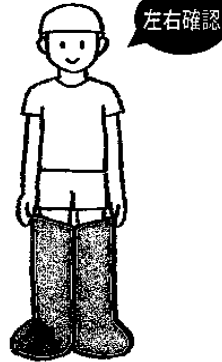
■ 着用時の服装



■ 着用の手順 ひとりでは着用できません 必ずサポーター(着せる人)が付き添って着用して下さい

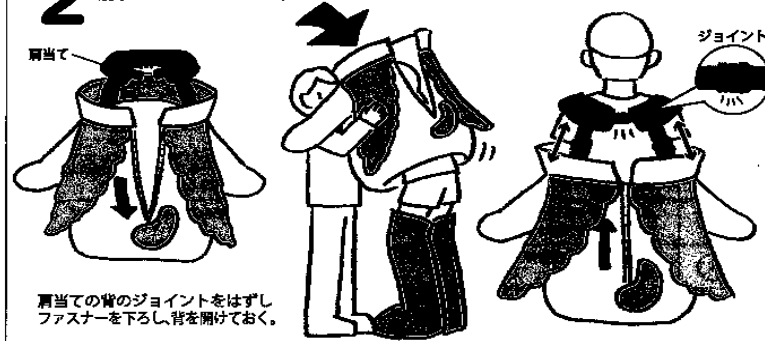
※着脱の際は動物を驚くなどして、汚れが付かないように注意して下さい。

1 足をはく。



着用直前に靴中敷を入れる。
(靴中敷は使用後捨てる。)

2 胴をかぶせる。



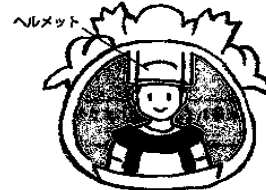
肩当ての背のジョイントをはずし
ファスナーを下ろし、背を開けておく。

ジョイントを固定し背のファスナーを上げる。
★着用者にあわせて肩当ての長さを調整する。

3 頭をかぶせる。



頭をかぶせながら、首を頭に押し込む。
着ぐるみの顔が正面をむいていることを確認する。



ヘルメットに頭を入れる。
★さぐるみの重量は着用者の肩と頭で分散させ、
着用者の頭(首)に負担をかけないようにする。

完成



使用後は、消臭スプレーなどを使用し、風通しのよいところで陰干しし、十分に乾燥させてから返却すること！

乾燥が十分でないときは、返却時に袋から出して、役場応接室で乾燥させておくこと！